

越後獅子の唄

【作詞】西條 八十
【作曲】万城目 正

0 / 4

笛にうかれて 逆立ちすれば
山が見えます ふるさとの
わたしゃみなしご児 街道ぐらし
流れ流れの 越後獅子

今日も今日とて 親方さんに
芸がまずいと 叱られて
バチでぶたれて 空見上げれば
泣いているよな 昼の月

打つや太鼓の 音さえ悲し
雁が啼く啼く 城下町
暮れて恋しい 宿屋の明かり
遠く眺めて ひと踊り

ところ変われど 変わらぬものは
人の情けの 袖しぐれ
ぬれて涙で おさらばさらば
花に消えゆく 旅の獅子

越後獅子の唄

【作詞】西條 八十
【作曲】万城目 正

□□□■

1.

笛にうかれて
逆立ちすれば
山が見えます
ふるさとの
わたしゃみなしじい
街道ぐらし
流れ流れの
越後獅子

越後獅子の唄

【作詞】西條 八十
【作曲】万城目 正

2.
□□■
今日も今日とて
親方さんに
芸がまずいと
叱られて
バチでぶたれて
空見上げれば
泣いているよな
昼の月

越後獅子の唄

【作詞】西條 八十
【作曲】万城目 正



3.

打つや太鼓の
音さえ悲し
雁が啼く啼く
城下町
暮れて恋しい
宿屋の明かり
遠く眺めて
ひと踊り

越後獅子の唄

【作詞】西條 八十
【作曲】万城目 正

■ ■ ■ ■
4. ところ変われど
変わらぬものは
人の情けの
袖しぐれ
ぬれて涙で
おさらばさらば
花に消えゆく
旅の獅子